

2025 年 6 月 30 日

住商メタレックス、大阪チタニウムテクノロジーズ、住友商事の 3 社間にて
「GX 推進に向けた包括覚書」を締結

住商メタレックス株式会社

住商メタレックス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：我妻隆史、以下「住商メタレックス」）は、株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ（本社：兵庫県尼崎市、代表取締役社長：川福純司、以下「大阪チタニウムテクノロジーズ」）、住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 CEO：上野真吾、以下「住友商事」）と、大阪チタニウムテクノロジーズの 2050 年のカーボンニュートラル化実現に向けた「GX 推進に向けた包括覚書」を締結しました（※）。住商メタレックスは、世界トップクラスのスポンジチタンメーカーとして航空機・エンジン用途を中心に同社製のスポンジチタンを世界中に販売している大阪チタニウムテクノロジーズの販売窓口として長年同社製品の販売を担っており、住友商事グループと共に大阪チタニウムテクノロジーズの GX 推進を積極的に支援することで、同社製品の差別化を図っていきます。

※：本「GX 推進に向けた包括覚書」は、住友商事および住商メタレックスによる独占契約を意図したものではありません。

住商メタレックスは、住友商事の 100%子会社で、社会の多様なニーズに応えるべく「非鉄金属に留まらず価値を創造するソリューションプロバイダー」として、グローバル且つ多角的に事業展開しています。住友商事の持つ信用力に加え、グローバルに展開するビジネス基盤を最大限活用し、カーボンニュートラル化、循環型経済の構築という社会課題の解決にチャレンジしながら、新たな価値創造に挑んでいます。

大阪チタニウムテクノロジーズは、世界トップクラスのスポンジチタンメーカーとして、環境に関する諸課題へ取り組むことは企業の社会的責務であるとの基本認識のもと、環境パフォーマンスを向上させ、持続可能な社会の実現に貢献することを通じて、中長期的な企業価値向上を図っています。2050 年度のカーボンニュートラルの実現に向け、太陽光発電設備の増強、オフサイト PPA の導入、カーボンニュートラルに寄与するチタン製品の供給等、多面的な取組を実行しています。

住友商事グループは、2050 年の自社事業のカーボンニュートラル化、社会のカーボンニュートラル化への貢献を目指し、サプライチェーン全体を俯瞰した持続可能なエネルギーシステムとカーボンサイクルの構築の実現に挑戦しています。

エネルギー効率・炭素効率の改善、省エネルギー化を促進する事業の拡大や、再エネや新たな電力・エネルギーサービスの拡大、電化・燃料転換の促進、水素等のカーボンフリーエネルギーの開発・展開、CO2 吸収・固定・利活用の推進（森林事業、CCUS、ブルーカーボン等）など脱炭素化に資するさまざまな事業に多角的に取り組んでいます。

[住商メタレックス株式会社 HP](#)

[お問い合わせフォーム](#)

以上